

県立大“いつでも青春キャンパス®”

シニア大学生③期生

Vol.2

キャンパスライフ紹介!

ハーブの香りはどこから?

顕微鏡で組織を観察(9月16日)

シニア大学生の西村幸一さん(72)はハーブの香りに関する研究をスタートさせました。天然由来の香りに興味がある西村さん。生物生産科学科の川上寛子助教(生物資源科学)の助言で、ハーブの香り物質を蓄積する小さな袋状の組織である「分泌性トライコーム」について、顕微鏡で観察を始めました。16日は、川上助教が育てているラベンダー タイム ミントなど6種類のハーブの葉を顕微鏡で観察。葉の表面に、小さな粒のように形成されている分泌性トライコームを確認し、歓声を上げました。「これが分泌性

オーデコロンか」。
いえ、分泌性トライコームです。

◀ハーブの葉の表面を顕微鏡で観察する西村さん。
奥に立つのは川上助教=秋田キャンパス



「いつでも青春キャンパス®」は選考を経た65歳以上の県民が1年間勉強や研究に取り組める新プログラムです。